

製品名: STK33 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18396**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	STK33
別名	STK33; Serine/threonine-protein kinase 33
遺伝子 ID	65975.0
SwissProt ID	Q9BYT3
免疫原	ヒト STK33 の N 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

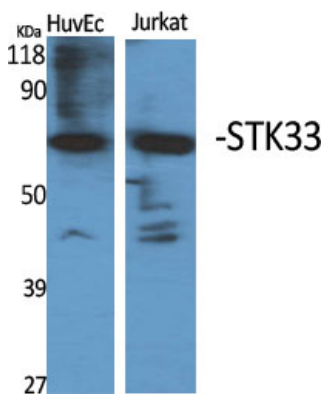
触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。CaMK サブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。組織特異

性:精巣、胎児の肺、心臓で高く発現し、続いて下垂体、腎臓、心室中隔、脾臓、心臓、気管、甲状腺、子宮で高く発現します。以下の組織において、弱いハイブリダイゼーションシグナルが観察されました:扁桃体、大動脈、食道、上行結腸、横行結腸、骨格筋、脾臓、末梢血白血球、リンパ節、骨髄、胎盤、前立腺、肝臓、唾液腺、乳腺、一部の腫瘍細胞株、胎児脳、胎児肝臓、胎児脾臓、胎児胸腺。神経系組織由来の RNA では、シグナルは全く検出されませんでした。触媒活性: ATP + a タンパク質 = ADP + a リン酸化タンパク質。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。CaMKサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。組織特異性: 精巣、胎児肺、心臓で高い発現を示し、次いで下垂体、腎臓、心室中隔、脾臓、心臓、気管、甲状腺、子宮で高い発現を示す。以下の組織で弱いハイブリダイゼーションシグナルが観察された: 扁桃体、大動脈、食道、上行結腸、横行結腸、骨格筋、脾臓、末梢血白血球、リンパ節、骨髄、胎盤、前立腺、肝臓、唾液腺、乳腺、一部の腫瘍細胞株、胎児脳、胎児肝臓、胎児脾臓、胎児胸腺。神経系組織由来の RNA ではシグナルは全く検出されなかった。、

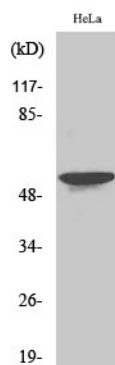
研究分野

シグナル伝達

画像データ



STK33 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



STK33 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析